

サイクルシップ 広域型

大阪府岬町（自治体）

はじめに 概要

大阪府岬町と兵庫県洲本市が自転車を積載できる旅客船を運航。（後援多数）

航路民営化と地方の観光振興を目指す。

名称：広域型サイクルツーリズム事業

航路：大阪深日港～淡路島洲本港

便数：一日4往復（49トン船）

期間：7月1日から2019年2月末

事業費：1億円（A+B+C）

A 地方創生推進補助金

B 乗船料

C 自治体負担金

サイクルツーリズム事業

まちづくり戦略室 保井 太郎

特徴

○サイクリストが広域に往来

観光だけでなくアワイチや大阪・和歌山の広域サイクルルートをつなぐ海路

○サイクリストの利便性向上

陸路より移動時間が短い（片道55分）

ロードバイク積載（前輪フォーク固定）

チェーンや後輪を外す必要がない

○ちょっぴりエンターテイメント

観光目的の乗船者の目前で、前輪を外し、

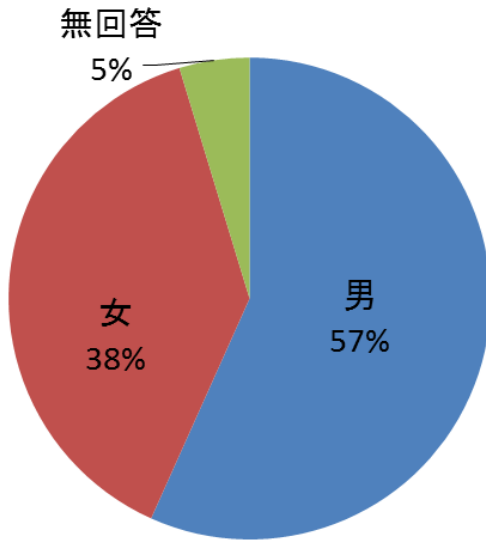
前輪を持って乗船する光景

○サイクルシップのビジネスモデル

○深日洲本ライナーアンケート

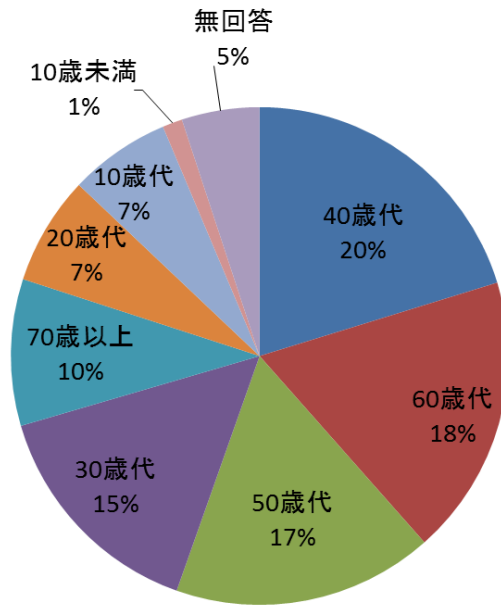
中間集計（総計 850 件）H30.8 月末時点

① 性別



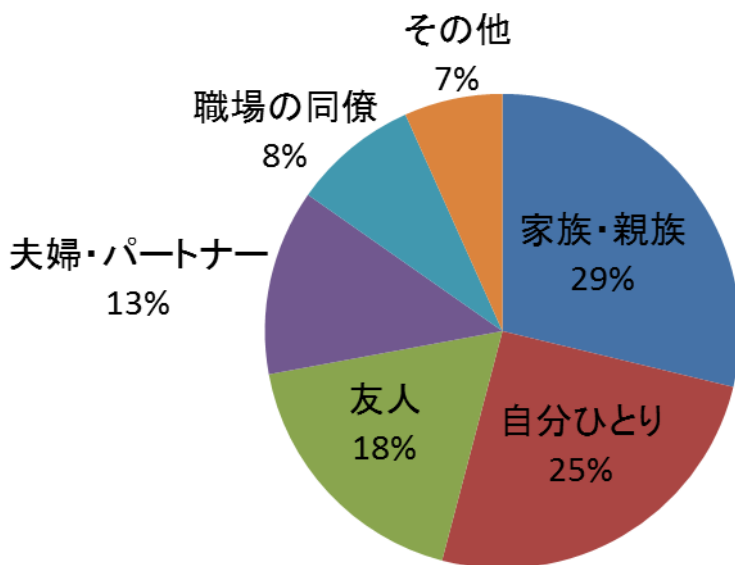
総数 850 件

② 年齢



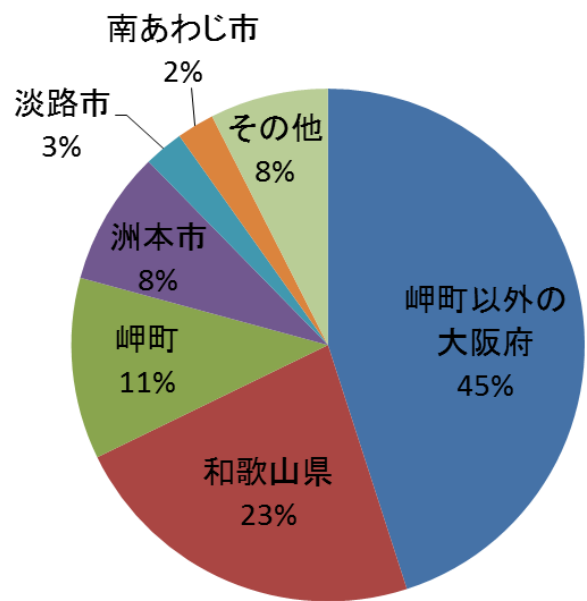
総数 850 件

③ 誰と利用したか



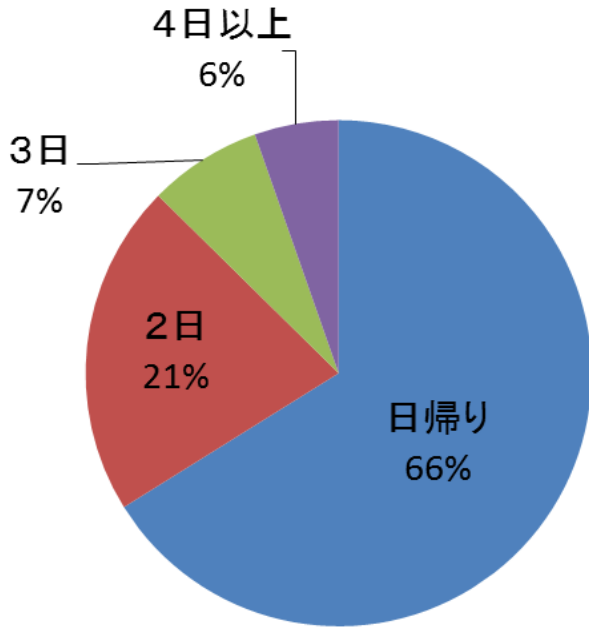
総数 806 件

④ 住まい



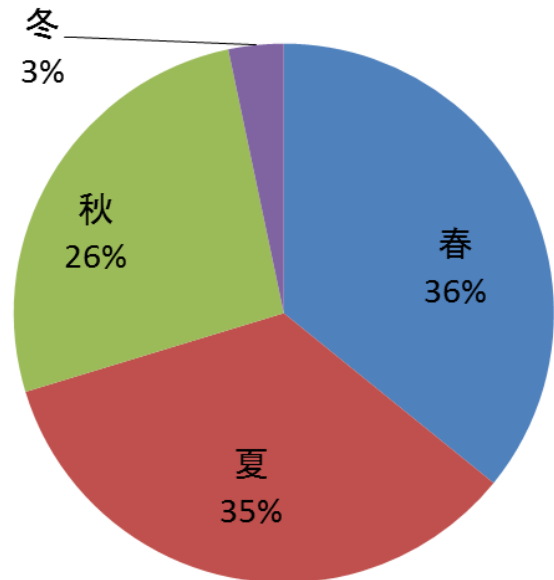
総数 744 件

⑤旅行日数



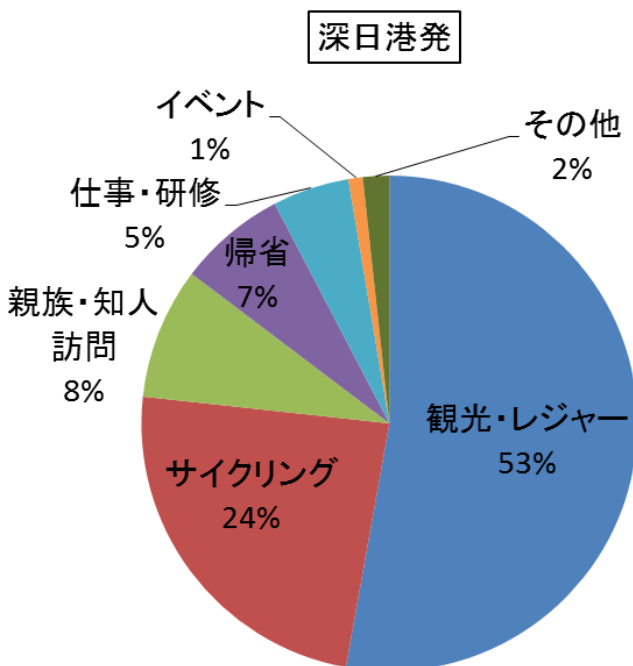
総数 800 件

⑥再度利用する可能性の高い季節

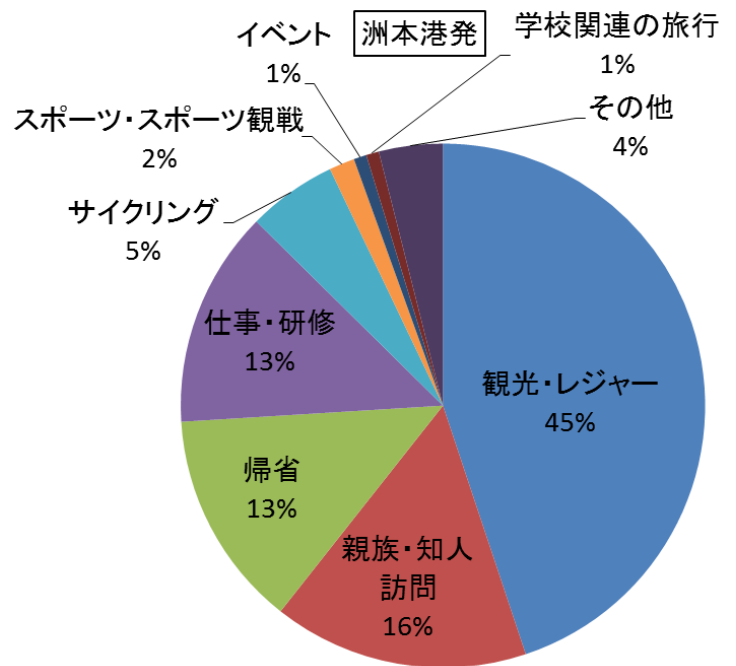


総数 636 件

⑦乗船目的



総数 640 件



総数 127 件

サイクルシップとしての課題

○観光乗船者の思い

デッキに出たい（愛知県西尾市営渡船）

○サイクリストの思い

そのまま愛車を船内に（オレンジフェリー）

○運航者の思い

乗船者の確保（収入）

一方通航（都市⇒地方型）の改善

平日や昼間の乗船者の需要拡大

輪行袋無料慣習　ママチャリ対応

運航経費の把握（支出）

船舶の規模　燃料費（為替、原油価格）

保守点検　接岸施設（深日港）

自転車フックの多様化



